

福井県の治安情勢 [11月末現在]

(令和元年11月末数値は暫定のものを含む)



令和元年10月13日～16日
台風19号被害に伴う広域緊急援助隊活動状況（長野県）



— 福井県警察 —

1 刑法犯

(1) 刑法犯の認知・検挙状況

認知件数は2,878件で、前年同期に比べて103件(3.5%)減少
 検挙件数は1,739件で、前年同期に比べて205件(13.4%)増加
 検挙率は60.4%で、前年同期に比べて8.9ポイント上昇

		H28	H29	H30	R1.11末
福井	認知件数(件)	3,645	3,231	3,197	2,878(-103)
	検挙件数(件)	1,905	1,764	1,786	1,739(+205)
	検挙人員(人)	1,153	1,150	1,117	1,157(+152)
	検挙率(%)	52.3	54.6	55.9	60.4(+8.9p)
全国	認知件数(件)	996,120	915,042	817,338	688,375(-65,788)
	検挙件数(件)	337,066	327,081	309,409	272,440(-16,301)
	検挙人員(人)	226,376	215,003	206,094	176,964(-13,843)
	検挙率(%)	33.8	35.7	37.9	39.6(+1.3p)

※1 表の()内は、前年同期比を示す。

※2 検挙率とは、当該年の認知件数に対する検挙件数(当該年以前の認知事件の検挙を含む。)の割合

(2) 重要犯罪の認知・検挙件数

認知件数は25件で、前年同期に比べて12件(32.4%)減少
 検挙件数は23件で、前年同期に比べて14件(37.8%)減少

	【認知件数】 (単位:件)				【検挙件数】 (単位:件)			
	H28	H29	H30	R1.11末	H28	H29	H30	R1.11末
殺人	1	6	7	8(+1)	1	6	7	6(-1)
強盗	5	8	7	1(-6)	4	8	7	1(-6)
放火	3	6	4	3(±0)	3	6	4	3(±0)
強制性交等	11	2	7	2(-4)	12	2	7	2(-4)
略取・誘拐	6	2	2	0(-2)	6	2	2	0(-2)
強制わいせつ	16	8	12	11(-1)	18	8	12	11(-1)
合計	42	32	39	25(-12)	44	32	39	23(-14)

(3) 街頭犯罪等8類型の認知件数

認知件数は793件で、前年同期に比べて122件(13.3%)減少

(単位:件)

	H28	H29	H30	R1.11末
車上ねらい	238	202	277	134(-130)
自動販売機ねらい	27	5	19	9(-10)
自動車盗	32	36	23	18(-5)
オートバイ盗	42	17	10	4(-6)
自転車盗	558	484	487	444(-15)
空き巣	118	78	63	67(+5)
忍込み	38	46	38	57(+20)
住居侵入	70	49	45	60(+19)
合計	1,123	917	962	793(-122)

2 子供を犯罪から守る対策

(1) 子供に対する声かけ事案等

相談等件数は239件で、前年同期に比べ19件(8.6%)増加

(単位:件)

	H28	H29	H30	R1.11末
小学生以下	80	82	95	109(+21)
中学生	45	52	47	47(+3)
高校生	111	79	89	79(-5)
その他	6	10	4	4(±0)
合計	242	223	235	239(+19)

※ 声かけ事案等とは、性犯罪等の前兆とみられる声かけ、つきまとい等をいう。

(2) 子供への声かけ事案等に対する先制・予防的活動

検挙、指導・警告件数は110件で、前年同期に比べて23件(26.4%)増加

(単位:件)

	H28	H29	H30	R1.11末
検挙	11	26	24	40(+18)
指導・警告	43	64	68	70(+5)
合計	54	90	92	110(+23)

(3) 主な施策

- ア 登下校時間帯における通学路等の警戒・パトロールの強化
- イ 声かけ事案等の行為者を早期に特定し、検挙、指導・警告等の先制・予防的活動を推進
- ウ 防犯ボランティアに対する情報提供と見守り活動への協力依頼
- エ リュウピーネットやGIS（安全・安心マップ）によるタイムリーな不審者情報の発信
- オ 保育園・幼稚園や学校における防犯教室、不審者対応訓練の実施



防犯ボランティアとの
見守り活動



防犯教室

3 非行少年を生まない社会づくり

(1) 非行少年の推移

検挙・補導した非行少年は116人で、前年同期に比べて23人（24.7%）増加

（単位：人）

	H28	H29	H30	R1. 11 末
犯罪少年	126	95	87	93(+21)
触法少年	43	38	22	20(-1)
ぐ犯少年	1	0	0	3(+3)
非行少年総数	170	133	109	116(+23)

(2) 主な施策

- ア 電気通信事業者と合同による、SNS等を利用した犯罪又は被害防止のための情報モラル教室
- イ イベント会場における薬物乱用防止に関する広報啓発活動
- ウ 少年警察ボランティアによる広報啓発、被害防止教室
- エ 少年が集まりやすい祭礼行事等における街頭補導活動



情報モラル教室



少年警察協助力員による街頭補導活動

4 女性を犯罪から守る対策

(1) 女性が被害者となる犯罪の認知・検挙件数

認知件数は219件で、前年同期に比べて70件(47.0%)増加

検挙件数は210件で、前年同期に比べて67件(46.9%)増加

(単位：件)

	H28		H29		H30		R1.11末	
	認知	検挙	認知	検挙	認知	検挙	認知	検挙
強制性交等	11	12	2	2	7	7	2(-4)	2(-4)
強制わいせつ	16	18	8	8	12	12	11(-1)	11(-1)
略取誘拐・人身売買	6	6	2	2	2	2	0(-2)	0(-2)
暴行	71	72	106	102	103	97	145(+49)	138(+47)
傷害	50	44	43	43	36	35	61(+28)	59(+27)
合計	154	152	161	157	160	153	219(+70)	210(+67)

(2) ストーカー事案の相談等・検挙状況

相談等件数は108件で、前年同期に比べて42件(63.6%)増加

検挙件数は22件で、前年同期に比べて14件(175.0%)増加

(単位：件)

	H28	H29	H30	R1.11末
相談等	122	74	74	108(+42)
検挙	24	29	8	22(+14)
禁止命令・警告	41	40	27	46(+22)

(3) DV事案の相談等・検挙状況

相談等件数は215件で、前年同期に比べて46件(27.2%)増加

検挙件数は130件で、前年同期に比べて38件(41.3%)増加

(単位：件)

	H28	H29	H30	R1.11末
相談等	195	174	187	215(+46)
検挙	63	88	99	130(+38)
保護命令	11	10	9	6(-3)
警告	94	70	70	64(+3)

(4) 主な施策

ア ストーカー・DV事案に対する被害者の迅速な安全確保と行為者に対する指導・警告、検挙の措置の徹底

イ ストーカー行為者に対応する警察官が、精神科医やカウンセラーから、ストーカー行為の再発防止のための対応補法について専門的な助言等を受け、行為者の更生を支援

※ R1.11末：10事案について10回実施

5 高齢者を犯罪から守る対策（特殊詐欺対策）

(1) 特殊詐欺の認知件数及び被害額（H30以降特殊詐欺（窃盗）を含む）

（※ 被害額の1万円未満は四捨五入）

- ・ 特殊詐欺（詐欺・恐喝・窃盗）の認知件数は24件で、前年同期に比べて4件（14.3%）減少
- ・ 被害金額は約1億940万円で、前年同期に比べて約1,129万円（11.5%）増加

【被害の特徴】

- ① 手口別では、架空請求詐欺の割合が多い（11件、45.8%）
- ② 65歳以上の割合は約7割（17件、70.8%）
- ③ 交付形態別では、「振込型」5件、「手交型」3件、「送付型」2件、「電子マネー型」6件、「キャッシュカード手交型」2件、「キャッシュカード窃取型」6件

		H28		H29		H30		R1.11末	
		認知 (件)	被害額 (万円)	認知 (件)	被害額 (万円)	認知 (件)	被害額 (万円)	認知 (件)	被害額 (万円)
特殊詐欺 (詐欺・恐喝)	オレオレ	17	4,523	26	9,765	6	661	2(-3)	53(-608)
	架空請求	22	16,708	39	10,302	22	10,373	11(-8)	8,705(+251)
	融資保証金	2	389	2	188	2	215	3(+1)	600(+385)
	還付金等	9	593	5	535	0	0	2(+2)	96(+96)
	金融商品	2	3,560	0	0	0	0	0(±0)	0(±0)
	ギャンブル	1	1	1	534	0	0	0(±0)	0(±0)
	異性交際	0	0	0	0	1	51	0(-1)	0(-51)
	その他	0	0	3	2,600	0	0	0(±0)	0(±0)
	小計	53	25,775	76	23,924	31	11,300	18(-9)	9,454(+73)
特殊詐欺(窃盗)		—	—	—	—	1	429	6(+5)	1,486(+1,056)
合計		53	25,775	76	23,924	32	11,729	24(-4)	10,940(+1,129)

※ 特殊詐欺（窃盗）とは、オレオレ詐欺等の手口で被害者に接触し、被害者の隙を見てキャッシュカード等を窃取する窃盗をいう。平成30年以降は、特殊詐欺被害に「特殊詐欺（窃盗）」を加えて計上。

(2) 検挙状況（助長犯罪 ※を含む）（H30以降特殊詐欺（窃盗）を含む）

検挙人員は34人で、前年同期に比べて6人（21.4%）増加

	H28	H29	H30	R1.11末
検挙件数（件）	71	49	39	44(+14)
検挙人員（人）	40	51	36	34(+6)

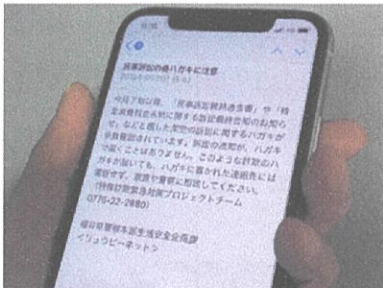
※ 助長犯罪とは、売却目的で携帯電話や預貯金口座を不正に取得するなど、特殊詐欺を助長する犯罪をいう。

(3) 主な施策

特殊詐欺緊急対策プロジェクトチーム（H29.11発足）による抑止と検挙を両輪とした対策を推進

ア 被害防止対策

- 予兆電話認知時等におけるリュウピーネットや Yahoo!防災速報による県民へのタイムリーな情報発信
- オートコールシステムによる金融機関、タクシー事業者に対する速やかな情報配信
- 制服警察官による高齢者宅への集中的な巡回連絡や、高齢者が集まる場所での分かりやすい出前講座による直接指導
- 金融機関、コンビニエンスストアにおける声かけ訓練の実施や、県警察オリジナルの「声かけ用シート」、「注意喚起スタンド」の配付による被害の未然防止対策
- 生命保険協会や理容生活衛生同業組合、美容業生活衛生同業組合との協定に基づく県民への注意喚起
- 放送局キャスター2人を「特殊詐欺撲滅アンバサダー」に委嘱しての広報啓発
- 県内全ての信用金庫において、一定条件に該当する顧客のATMでの引出制限を導入



リュウピーネットによる
情報発信



金融機関での声かけ訓練



特殊詐欺撲滅アンバサダー
委嘱式

イ 取締り

- 「だまされた振り作戦」や他の都道府県警察との連携による犯行グループの壊滅に向けた取締り
 - ・ タイを拠点とする特殊詐欺の犯行グループの逮捕（R1.5～）
- 携帯電話や預貯金口座の不正取得など、特殊詐欺を助長する犯罪の取締りと犯行ツールの無力化対策の推進

6 暴力団等組織犯罪対策

(1) 暴力団対策

ア 検挙状況

検挙人員は102人で、前年同期に比べて2人(2.0%)増加 (単位:人)

	H28	H29	H30	R1.11末
刑法犯	53	34	76	59(-6)
特別法犯	33	42	36	43(+8)
合計	86	76	112	102(+2)

イ 山口組分裂に伴う諸対策

- 既存の「六代目山口組・神戸山口組対立抗争集中取締本部」を継続し、暴力団犯罪の取締りと暴力団関係箇所の警戒活動を徹底 (H29.4~)

ウ 取締り

- 二代目中西組六代目宮原組幹部らによる出資法違反、脅迫、犯罪収益移転防止法違反事件 (R1.5)
- 二代目中西組六代目宮原組幹部らによる強要未遂事件 (R1.10)

エ 暴力団排除活動の取組

- 「福井県企業防衛対策協議会」や「福井県公益事業暴力追放連絡協議会」など、あらゆる分野や業種との連絡体制を確立し、暴力団等からの危害防止のための支援を実施
- 暴力追放敦賀市民会議による決起大会及び暴力団事務所付近の街頭行進を支援し、地域からの暴力団完全排除等を目的とした暴排活動を実施 (R1.6)
- 「暴力のない安全で安心して暮らせる福井県」の実現のため「暴力追放福井県民大野大会」を開催し、県民に対して暴排気運を醸成 (R1.8)



福井県公益事業暴力追放連絡協議会



暴力追放敦賀市民会議
決起大会・街頭行進

(2) 薬物犯罪対策

○ 検挙状況

検挙人員は60人で、前年同期に比べて13人(27.7%)増加 (単位:人)

	H28	H29	H30	R1.11末
覚醒剤	22	47	37	43(+9)
大麻	14	16	13	16(+3)
その他	0	1	0	1(+1)
合計	36	64	50	60(+13)

7 交通事故から県民を守る対策

(1) 交通事故の発生状況

交通事故死者数は27人で、前年同期に比べて7人(20.6%)減少
車両乗車中の事故による死者14人のうち7人がシートベルト非着用

	H28	H29	H30	R1.11末
総事故件数(件)	23,984	25,060	25,540	19,984(-3,286)
人身事故件数(件)	1,847	1,549	1,398	1,051(-201)
うち 死者数(人)	51	46	41	27(-7)
うち 傷者数(人)	2,141	1,761	1,589	1,196(-235)
物損事故件数(件)	22,137	23,511	24,142	18,933(-3,085)

※ 全国の交通事故死者数(R1.11末)は2,859人で、前年同期に比べて263人減少

(2) 交通事故から高齢者を守る対策

ア 高齢者(65歳以上)が犠牲となる交通死亡事故

高齢者の死者数は16人で、前年同期に比べて7人(30.4%)減少

	H28	H29	H30	R1.11末
全死者数(人)	51	46	41	27(-7)
高齢死者数(人)	37	25	28	16(-7)
構成率(%)	72.5	54.3	68.3	59.3(-8.3p)

イ 高齢交通弱者が犠牲となる交通死亡事故

高齢交通弱者(歩行者・自転車乗用中)の死者数は10人で、前年同期に比べて2人(16.7%)減少

歩行中の死者6人のうち4人は夜間歩行中の事故であり、いずれも反射材非着用

(単位:人)

	H28	H29	H30	R1.11末
高齢交通弱者の死者数	23	17	15	10(-2)
歩行中	10	14	10	6(-2)
自転車乗用中	13	3	5	4(±0)

ウ 主な施策

- 高齢交通弱者に対する反射材タスキの貸与による保護誘導活動
- 反射材普及協力店等と連携した反射材普及促進活動
- 歩行環境シミュレーター等を用いた、参加・体験・実践型の出前交通安全教室
- 「早めの前照灯点灯」と「ハイビーム実践運動」



交通安全教育車を活用した
参加・体験・実践型の交通安全教室



反射材普及・貼付活動

(3) 高齢運転者対策

ア 高齢運転者が第1当事者となる交通死亡事故

全ての交通死亡事故のうち、高齢運転者が第1当事者となる死亡事故は8件で、前年同期に比べて5件（38.5%）減少

(単位：件)

	H28	H29	H30	R1.11末
交通死亡事故件数	49	46	39	27 (-5)
高齢運転者が第1当	14	12	15	8 (-5)

イ 主な施策

- ドライブレコーダーを活用した個別の交通安全指導
- 過去に複数回事故歴を有する高齢者に対する訪問指導
- 70歳以上の高齢運転者中心とした「シルバー・セーフティドライビング講習」



ドライブレコーダーを活用した
交通安全指導



安全運転サポート車を用いた
体験講習

(4) 悪質・危険運転者対策

ア 飲酒運転対策

(ア) 飲酒運転による人身事故

飲酒運転による人身事故は21件で、前年同期と同数

死亡事故件数は2件で、前年同期に比べて2件(50.0%)減少

	H28	H29	H30	R1.11末
人身事故件数(件)	28	27	21	21(±0)
死亡事故件数(件)	7	7	4	2(-2)
構成率(%)	25.0	25.9	19.0	9.5(-9.5p)

(イ) 飲酒運転の取締り

飲酒運転の検挙件数は187件で、前年同期に比べ22件(10.5%)減少

	H28	H29	H30	R1.11末
検挙件数(件)	188	201	229	187(-22)

(ウ) 主な施策(飲酒運転根絶気運の醸成)

- ハンドルキーパー運動の広報啓発
- 小学児童等を「リュウピー・リュウミー交通保安官」に任命し、家庭や地域から飲酒運転根絶気運を醸成
- 県内居住地区別の飲酒運転取締り状況を表した「飲酒運転マップ」を県警ホームページに掲載し、広報啓発活動や交通安全講習等で活用

イ あおり運転対策

(ア) 車間距離保持義務違反等の取締り

車間距離保持義務違反の検挙件数は95件で、前年同期に比べて41件(75.9%)増加

進路変更禁止違反の検挙件数は10件で、前年同期に比べて8件(400.0%)増加

	H28	H29	H30	R1.11末
車間距離保持義務違反(件)	3	3	42	95(+41)
進路変更禁止違反(件)	2	3	8	10(+8)

(イ) 検挙事例

- 大飯郡おおい町地籍舞鶴若狭自動車道における暴行事件 (R1.11)

